

問題

図1

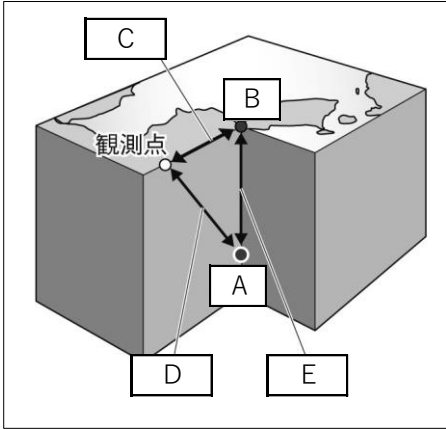


図2

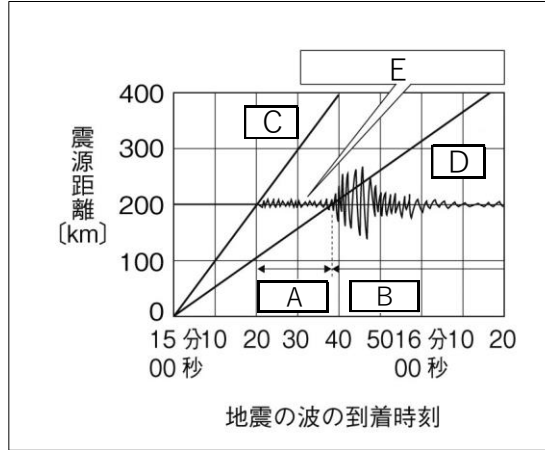
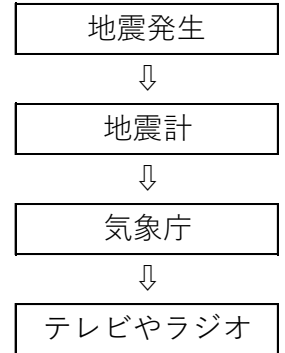


図3



- ① 地震によるある地点での地面の揺れの程度を何というか、書きなさい。
- ② 日本で用いられている①の値は、何階級に分かれているか、書きなさい。
- ③ 地震そのものの規模を表す指標であり、地震そのものの大きさ（エネルギー）を何というか、書きなさい。
- ④ マグニチュード7.6の地震のエネルギーは、マグニチュード5.6の地震のエネルギーの約何倍になるか。最も適切なものを【 】の中から1つ選んで書きなさい。
【 約5倍 約32倍 約500倍 約1000倍 約3200倍 】
- ⑤ 地震のとき、地下の岩石の崩壊が始まった図1中のAの点を何というか、書きなさい。
- ⑥ 図1中の点Aの真上の地表の点Bを何というか、書きなさい。
- ⑦ 図1中のC~Eに入る言葉を、次の【 】からそれぞれ選んで書きなさい。
【 震源距離 震央距離 震源の深さ 】
- ⑧ 震源から愛知県豊田市までの距離は142 kmで、地震が発生してから地面の揺れが始まるまでの時間は23秒であった。地面の揺れが豊田市まで伝わる速さは何km/sであるか。小数第2位を四捨五入して求めなさい。
- ⑨ 図2中のAにあてはまる語句で、はじめの小さな揺れを何というか、書きなさい。
- ⑩ 図2中のBにあてはまる語句で、はじめの小さな揺れの後に続く大きな揺れのことを何というか、書きなさい。
- ⑪ 地震がおこると、速さの違う2つの波が同時に発生して伝わっていく。図2中のCにあてはまる語句で、速さの速い波を何というか、書きなさい。
- ⑫ 図2中Dにあてはまる語句で、⑪の波の後にくる遅い波を何というか、書きなさい。
- ⑬ 図2中Eにあてはまる語句で、⑪の波と⑫の波が届くまでの時刻の差を何というか、書きなさい。
- ⑭ 図3のように、気象庁が中心となって提供している予報で、地震の大きな揺れがくることを緊急に知らせるしくみを何というか、書きなさい。

①	震度	②	10 段階	③	マグニチュード	④	約1000倍	⑤	震源
⑥	震央	⑦	C 震央距離	D	震源距離	E	震源の深さ	⑧	6.2 km/s
⑨	初期微動	⑩	主要動	⑪	P波	⑫	S波		
⑬	初期微動継続時間			⑭	緊急地震速報				